

成城大学 2026 年度 学部別選抜 (A 方式)

2 月 4 日 : 世界史

■解答例

〈注意事項〉

ここに掲載するのは解答の一例であり、その他に別解がある場合があります。

〔I〕 問 1 a カイロネイア b コリントス c イッソス d アケメネス  
e バクトリア f ディアドコイ g アンティゴノス h ムセイオン

問 2 ホラティウス

問 3 (1) コイナー

(2) 世界の東西融合が進むなか、ポリスの枠にとらわれない生き方を理想とするコスモポリタニズムの思想が生まれた。同時に、個人の内面的幸福を追求する風潮も強まり、精神的平穏を快楽とするエピクロス派や理性による禁欲を重視するストア派が盛んになった。(118 字)

問 4 エラトステネス

〔II〕 問 1 a 突厥 b ウイグル c カラハン d サーマーン e トウグリル=ベク  
f ブワイフ g スルタン h ファーティマ i ルーム j イル=ハン

問 2 (1) ニザーミヤ (2) イクター

(3) 人名 : ウマル=ハイヤーム、詩集 : ルバイヤート

〔III〕 問 1 a イギリス b 機械 c 鉄道 (蒸気機関車) d 労働者 e 資本論  
f エンゲルス g 共産党 h プロテスタンティズム i 予定

問 2 (ロバート・) オーウェン

問 3 サン=シモン

問 4 (1) (フランソワ・マリー・シャルル・) フーリエ

(2) (ピエール・ジョゼフ・) プルードン

〔IV〕 問 1 a トルーマン b ギリシア c コミンフォルム (共産党情報局)  
d 米州機構 e イギリス f 1951 g 中央情報局 h ホワイトカラー  
i 雪どけ j キューバ 危機 k 部分的核実験禁止

問 2 南樺太

問 3 マッカーシー

問 4 ケネディ

問 5 (ハ)

■出題意図

問題番号	出題の意図
I	<p>本問は、紀元前4世紀のアレクサンドロス3世による東方遠征を主要なテーマとして、ヘレニズム時代についての基本的な理解を問うものである。各設問では、関連する基本事項に対する理解を問うとともに、より具体的な文化的側面として、同時代の思想に関しても問うている。</p>
II	<p>本問は、トルコ民族の「西進」の理解を問うている。モンゴル高原から中央アジアを経てアナトリアまでの広大な範囲で1000年近い歴史の諸事項のつながりの理解が的確であるかを問うている。現在、ユーラシアという広大な地域が注目をあびており、その歴史的知識を問う問題である。</p>
III	<p>本問は、産業革命を契機とした社会の構造的な変容についての理解を問うものである。各設問では、基本的な事項を問うと共に、資本主義社会の到来とその問題点について考察した、代表的な思想家に関する基礎的な知識も、あわせて問うている。</p>
IV	<p>本問は、戦後の冷戦期におけるアメリカ合衆国とソヴィエト社会主義共和国連邦の関係並びに、両国をそれぞれ盟主とする資本主義陣営と共産主義陣営の対立構造についての理解を問うものである。各設問では、同時代の国際政治に関する基本的な事項も問うている。</p>

成城大学 2026 年度 学部別選抜 (A 方式)

2 月 5 日 : 世界史

■解答例

〈注意事項〉

ここに掲載するのは解答の一例であり、その他に別解がある場合があります。

〔I〕 問 1 a 王莽    b 南越    c 楽浪    d 百済  
      e 倭    f 卑弥呼    g ヤマト    h 都護

問 2 孫文

問 3 渤海

問 4 骨品制

問 5 天平文化

問 6 (1) 吐蕃 (2) 冊封体制

〔II〕 問 1 a 司教    b 十分の一    c クリュニー    d 叙任 (聖職叙任)  
      e 破門    f ヴェネツィア    g コンスタンティノーブル  
      h ラテン

問 2 イ 太陽    ロ 月

問 3 (1) クレルモン宗教会議 (公会議、教会会議)

(2) リチャード 1 世 (3) ドイツ騎士団

〔III〕 問 1 a ソクラテス    b アウグスティヌス    c トマス=モア  
      d ヘンリ 8 世    e エンクロージャー    f ゴーガン

問 2 イデア

問 3 グレゴリウス 1 世

問 4 クローヴィス

問 5 愚神礼賛

問 6 ウェルギリウス

問 7 陶潜 / 陶淵明

問 8 ブラジル

問 9 ピカソ

〔IV〕 問 1 a トウサン=ルヴェルチュール    b シモン=ポリバル  
      c サン=マルティン    d リンカン    e アメリカ=スペイン    f 棍棒

問 2 環大西洋革命

問 3 サン=ドマング

問 4 クリオール

問 5 モンロー

問6 植民地支配を受けたラテンアメリカでは、限られた種類の商品作物や鉱物資源に偏った生産体制が形成されたため、気候や国際価格の変動に影響を受けやすく、欧米諸国への経済的依存からの脱却が困難となった。(96字)

問7 リベリア

問8 コロンビア

問9 ポーツマス条約

■出題意図

問題番号	出題の意図
I	<p>本問は、後漢から唐にいたる、中国を中心とした東アジア世界の歴史的展開の理解についての理解を問うものである。各設問では当該時期の歴史的な展開の理解、中国東北地方・朝鮮半島・日本・ベトナム・チベットといった中国周辺地域の地域的な特徴のあり方についての理解を問うている。</p>
II	<p>本問は、西ヨーロッパにおけるローマ＝カトリック教会の展開についての理解を問うものである。各設問では、中世における教会の権威の強さ、10世紀以降の改革運動、教皇と皇帝の対立、13世紀以降におこった十字軍に関する理解を問うている。</p>
III	<p>本問は、ルネサンス期におけるユートピア思想の誕生とその歴史的文脈に関し、哲学、文学、美術などの文化史的な背景も踏まえた総合的な理解を問うものである。各設問では、関連する基本事項に対する理解を問うとともに、西洋と東洋の関係についても問うている。</p>
IV	<p>本問は、アメリカ独立革命やフランス革命の影響を受けて発生したラテンアメリカの独立運動について問うものである。特に、世界初の黒人主体の共和国となった旧フランス領のサン＝ドマング（現ハイチ）に焦点を当て、「有色人」が中心となった新国家の歩みについて問うている。</p>

成城大学 2026 年度 学部別選抜 (A 方式)

2 月 6 日 : 世界史

■解答例

〈注意事項〉

ここに掲載するのは解答の一例であり、その他に別解がある場合があります。

〔I〕 問 1 a アッカド b ウル c 第一 d ミタンニ e アッシュル=バニパル  
f ニネヴェ g メディア h カルデア

問 2 古代メソポタミアでは、シュメール文化に始まる楔形文字が広汎に用いられ、粘土板や石  
板に尖ったもので刻み込まれた。また太陰暦を修正した太陰太陽暦が用いられ、天文や  
角度の計算に有効な六十進法が使われていた。

問 3 ハンムラビ

問 4 カッシート

問 5 イスラエル

問 6 ネブカドネザル 2 世

〔II〕 問 1 a 南京 b 中書 c 里甲 d 衛所 e オイラト f 鄭和

問 2 靖難の役

問 3 (1) (イ) (2) 王陽明

問 4 (1) 賦役黄冊 (2) 魚鱗図冊

問 5 六諭

問 6 (1) 景德鎮 (2) 天工開物

〔III〕 問 1 a アイルランド b ヨーマン c 権利の請願 d ピューリタン  
e 水平派(平等派) f リヴァイアサン g ルイ 14 世 h ラシーヌ

問 2 ハムレット

問 3 (ロ)

問 4 ファン=ダイク

問 5 ジョン=ロック

問 6 高等法院

問 7 東インド会社

問 8 サンバルテルミの虐殺

問 9 ヴォルテール

〔IV〕 問 1 a 革新 b マッキンリー c 無制限潜水艦 d 国際連盟  
e ハーディング f フォード

問 2 (1) 金融 (2) (イ)

問 3 ジャガイモ

問 4 アメリカ労働総同盟 (AFL)

問 5 (1) ニューゼーランド (2) 市川房枝

問 6 (1) ラジオ体操 (2) チャップリン

■出題意図

問題番号	出題の意図
I	<p>本問は、古代メソポタミアから古代エジプトにまで支配を及ぼしたアッシリア帝国についての理解を問うものである。古代メソポタミアは世界史学習における基本中の基本であり、その理解が的確であるかを、論述問題を含む各設問で問うている。あわせて同時代の古代イスラエルについても問うている。</p>
II	<p>本問は、中国明代についての理解を問うものである。設問には明代の歴史的展開、明王朝の制度、さらに明代の社会経済史、文化史などがあり、明代を総合的に理解しているかを問う設問となっている。</p>
III	<p>本問は、16－17世紀英仏史の展開ならびにそれを支えた王権神授説についての理解を問うものである。各設問では、関連する基本事項に対する理解を問うとともに、各国の文化的、思想的背景についても問うている。</p>
IV	<p>本問は、19世紀末から1920年代末にかけてアメリカ合衆国が「繁栄」に向かった歴史的背景についての理解を問うものである。各設問では、それらの特徴づける歴史的事項を中心に問うとともに、日本の同時代の動向に関する関連事項をも問うている。</p>

成城大学 2026 年度 学部別選抜 (A 方式)

2 月 7 日 : 世界史

■解答例

〈注意事項〉

ここに掲載するのは解答の一例であり、その他に別解がある場合があります。

〔I〕 問 1 a ヴァルナ b ヴェーダ c ヴァイシャ d ヴァルダマーナ  
e パータリプトラ f 結集 g プルシャブラ h ヴィシュヌ  
i サンスクリット j バクティ

問 2 ウパニシャッド

問 3 ナンダ

問 4 シンハラ

問 5 マトゥラー

問 6 マハーバーラタ

〔II〕 問 1 a ハンニバル b スキピオ c シチリア d 属州  
e マリウス f スラ g スパルタクス h ポンペイウス  
i ブルートゥス (カッシウス)

問 2 (1) パン (2) 見世物 (サーカス)

問 3 クレオパトラ

問 4 (1) ローマの平和 (パクス=ロマーナ) (2) 元首政 (プリンキパトゥス)

〔III〕 問 1 a サルデーニャ王国 b 広州 c 天津 d カンボジア  
e フランス領インドシナ連邦 f マクシミリアン g チュニジア  
h ジブチ i マダガスカル j モロッコ k スペイン

問 2 コシュート

問 3 マネ

問 4 マフディー運動

〔IV〕 問 1 a 完新 b レバノン c ポンペイ d リスボン  
e 温室効果 f 京都 g パリ

問 2 猿人

問 3 カント

問 4 大秦

問 5 寒冷化による穀物生産の低下や疫病の流行による人口減少、魔女狩りの増加などの社会不安に加え、アメリカ大陸からの銀の流入の減少により経済活動が停滞し、三十年戦争やフロンドの乱などの戦争や内乱も頻発した。

問 6 石炭

問 7 アメリカ

■出題意図

問題番号	出題の意図
I	<p>本問は、アーリヤ人のインド進入からイスラーム勢力が進出するまでのインドにおける社会・文化の形成と展開の特質を問うものである。各設問では、インド文化圏の独自性を構成する大きな要素となった宗教的事項を中心に問うている。</p>
II	<p>本問は、ローマの覇権の拡大がどのようになされたかについての理解を問うものである。各設問では、ローマの東方進出以前の様子から、長期にわたる内乱を経て安定期に至るまでの展開に関する理解を問うている。</p>
III	<p>本問は、19世紀中葉から後半にかけてのアメリカ、アジア、アフリカにおけるフランスの対外政策、特にその拡張政策についての理解を問うものである。各設問では、同時代の政治運動及び文化についての理解を問うている。</p>
IV	<p>本問は、気候変動や自然災害についての理解を問うものである。各設問では、先史時代から現代に至るまで、自然災害や気候変動が人類社会にもたらした様々な影響を問うとともに、気候変動に対する近年の国際的な取り組みについても問うている。</p>